

年度スローガン



～ 笑顔の`わ、みんな`で～

広報はばたき

第41号

新発田青少年健全育成市民会議

少年団体交歓会

わくわく合宿 (新発田市青少年宿泊施設・あかたにの家)

平成28年10月8日(土)・9日(日)



2日間よろしくおねがいします!



テント班・宿泊棟班に分かれ就寝準備



夜はグッスリ寝れるかな?



みんなで夕食づくり



できたー「いただきます」



じゃんけん列車 どこまでも



あかたにの家



全員集合 2日間楽しかった

今年は7月にオープンした新発田市青少年宿泊施設「あかたにの家」で開催しました。少年団体所属児童及び一般参加(4～6年生)児童105名が参加し、救急法、護身術、防災食づくりなどを体験しました。

青少年はぐくみ環境懇談会

平成28年11月11日(金) 会場：豊谷殿

テーマ 「子どもの貧困対策について」

《参加団体》

- 新発田警察署
- 新発田市民生委員児童委員連合会
- 新発田市防犯組合
- 新発田市小・中学校校長会
- 新発田児童相談所
- 新発田阿賀北地区保護司会
- 新発田市小中学校PTA連合会
- 新発田市社会教育委員
- 新発田市少年輔導委員会
- 新発田地区少年輔導員等連絡会
- 新発田市教育委員会
- 新発田青少年健全育成市民会議

講演

「子どもの貧困の現状と対策について」

新発田市社会福祉課
生活支援係長 星野 哲也 様

国の調査によると日本の子どもの貧困率は16・3%で、6人に1人の子どもが貧困状態にあると言われています。さらに大人1人の世帯では貧困率が54・6%となり、先進国でも高い水準となっています。

当市では貧困率は算出しておりませんが、生活保護の状況で見ますと、平成27年7月現在で686世帯、992人の方が受給しており、県内でも高い水準となっています。18歳未満の子どもがいる世帯は61世帯で、100人の子どもがいます。

このような状況を踏まえ、国は平成25年に「子どもの貧困対策推進法」を公布し、翌年策定した子どもの貧困対策大綱において4つの重点施策として①教育の支援、②生活の支援、③保護者の就労支援、④経済的支援を示しています。当市の対策については、生活保護制度による保護の実施や自立に向けた支援のほかに、母子家

庭自立支援給付金事業として、母子・父子家庭の親の就職を支援する「自立支援教育訓練給付金」や「高等職業訓練促進給付金」を実施しています。

また、生活困窮者自立支援法に基づいて、生活保護に至る前段階から自立に向けた支援を行うため、「自立相談支援事業」、「住居確保給付金」、「就労準備支援事業」などの事業を実施しており、今年度からは高校の中退防止を目的とした「高校生相談支援事業」を開始しました。

地域からの孤立などが原因で貧困が見えにくい時代となっていますが、貧困により子どもの将来が閉ざされてしまうようなことがないよう、私も、早期の支援に務めてまいりますので、引き続き皆様の御協力をいただきたく、よろしくお願いたします。

☆仕事や生活のことで困っていませんか？

- ・ずっと働いていないので仕事につけるか不安
- ・家族の生活や将来が心配
- ・仕事したいけど介護が：
- ・生活に困っているが頼れる人がいない
- ・借金が重なって生活が苦しい
- ・病気で仕事や生活が不安

☆相談から自立まで、総合的な支援を行います。

- ①まずは相談
- ②生活の状況を確認します
- ③一緒に問題を把握し、自立への計画を立てます
- ④支援プランを一緒に考えます
- ⑤プランに沿った支援をおこないます

連絡先

新発田市役所社会福祉課

☎(代表) 22-33030

生活支援係

青少年はぐくみ環境懇談会



社会福祉課生活支援係長
星野 哲也 様

「フードバンクしばたの活動について」

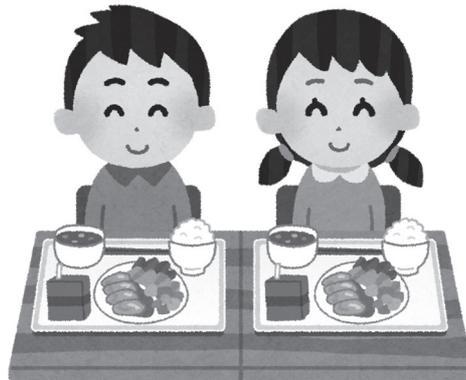
事務局 土田 雅穂 様

フードバンクしばたは、3月24日に開設させていただきました。このフードバンクの事業は三つございます。

一つは本来のフードバンクです。個人や企業から食べられる食べ物を、必要とする皆様の所へ届けることです。もう一つは子ども食堂です。様々な事情から家庭で十分な食事がとれなくなった子ども達に美味しい、栄養のある温かい食事を提供することです。夏休みに開設をしまして、10月から毎週土曜日、日曜日のお昼に開設しております。最後三つ目ですが就学支援です。就学するのに、ランドセルなどが必要なのですが、お金が無くて買えない、それを我慢している子どもがいるんです。そのような子ども達のために寄付を募り、必要とする物品を届ける事業をやっております。子ども食堂については、ボランティアさんを募集し、夏休みに2ヶ所で18回開催しました。来てくれるかどうか心配しましたが、本当にやってよかったなと思っております。またフードバンクをやるには初期にお

金がかかるのですが、様々な方からご支援をいただきました。是非こういう輪が広がるのが願いでございます。

何卒お願い申し上げます。皆さんありがとうございました。



フードバンクしばた
事務局 土田 雅穂 様

「フードバンクしばた」にご支援を

☆会への入会

フードバンクしばたは、会員の皆様の会費で活動しています。

- ・一般会員 年3000円
- ・団体会員 年10000円

☆協賛金の寄付

活動を継続していくために寄付を募っています。

- ・協賛金を受け付けております。お電話いただければ、お伺いさせていただきます。

☆食品・生活用品の提供

- ・未开封品
- ・産地が特定できる品(米・野菜)
- ・賞味期限が1ヶ月以上ある食品
- ・常温保管が可能なもの
- ・洗剤、ティッシュペーパーなどの生活用品

☆ボランティア&フードドライブ

(家庭で余っている食品を持ち寄る活動)

- ・配達やフードドライブのお手伝い、食品提供者の紹介や食品集めなど、お手伝いをしてくださる人を募集しています。

連絡先

☎090-1304718732
受付時間 午前9時〜午後6時
担当 土田

しばた子ども食堂

○場所

♥長徳寺(おてら食堂)

大栄町2丁目

毎週土曜日

♥多田様宅(みどり食堂)

緑町2丁目

本丸中校門前

毎週日曜日

○時間

♥開 店 12時から

♥食事時間 12時半から

○料金

♥子ども 無料

♥大人 300円



今日の昼食は季節の料理 恵方巻き

青少年健全育成講演会

平成29年1月14日(土)
会場：生涯学習センター

演題「子ども」も「親」も自己実現！
～いまできること、気がつくこと～
講師 新潟県スクールカウンセラー

横澤 富士子 様
(横澤夏子さんのお母さんです。)

～講師プロフィール～

上級教育カウンセラー、学校心理士、ガイダンスカウンセラーの資格を持ち、現在、新潟県スクールカウンセラー、糸魚川市の子ども主任教育相談員として勤務されており、県内を始め、全国の講演会等で子育てに関する講演の講師として活躍されています。



子どもは誰もが夢を実現できる素晴らしい力をもっています。その力を最大限に引き出すためには、家庭と学校と地域の力が必要です。糸魚川市では、日本一の子どもを育てる取組として0歳～18歳までの一貫した教育を始めました。その柱になるのが、まずは健やかな体の育成「生活のリズム」で、早寝早起き、美味しい朝ごはんを食べさせて欲しいことです。そして豊かな心の育成「愛着形成」で、これは0歳～2歳までが勝負です。その次に確かな学力育成「ともに学ぶ」です。

お家で親が使っている言葉や生活スタイルが全て子どものスタイルになっていきます。という事で、私がお母さんとして、カウンセラーとしてお伝えしたい事は、子どもは、どんな小さな子どもでも分かかって欲しいと思っている、そして受け止めてあげる、褒めてあげる事です。

褒められた子どもはまた褒められる行動をとる、期待に応えようとはしますが、期待をかけ過ぎてもいけないです。

日本一の子どもを育てるヒントとして大切に行っていることは、①小さい頃に十分親に甘えること、愛着形成ですね、②ありのままの自分が受け入れられた体験を持つこと、自分を愛してくれる人がいること、③我慢ができること、思いきり自己主張してもダメなことはダメと躰がされていること、④将来の夢があること、熱中できるものがあること、⑤自分の気持ちや感情を伝えることができること、泣いてもいい、笑ってもいい、とにかく喜怒哀楽が出せることです。是非お子さんが夢を叶えるために皆で頑張っていきましょう。



「講演を聞いて」

ボイスカウト

高橋 和恵 様

「何をしたら、子どもが伸びるのかを考え、最後まで話を聞いてあげて子ども自身が答えを見つけてるように導くこと。」そのヒントが詰まった話でした。

横澤先生の、相談員としての経験から、じっくり話を聞き、「何がしたいの」と、質問することが大切だとのこと。

私が今、何が出来るのか考えていきたいと思いました。

佐々木中学校PTA

坂井 喜行 様

子どもはわかってほしいので、わかってあげようとするだけで十分という言葉が印象的でした。

褒められたい。褒めてあげる。期待に応えて努力する。それをまた褒める。大人も子どもも、褒められたらうれしいですね。とても基本的なことなのですが、その基本的なことが、とても大切なのだと思えて教えていただきました。

青少年健全育成

「市民一斉パトロール」

平成28年11月3日(火・祝) 出発式: アイネスしばた (旧県立病院跡地)

啓発活動: 市内7ヶ所 (イオン新発田店・コモタウン・ウオロク東新町店・ウオロク緑店
・パテオ西新発田・フレスポ新発田・カルチャーセンター)



11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、今年度も小・中学校PTA、各地区青少年育成協議会、関係機関等のみなさん250名にご協力いただき、アイネスしばたでの出発式後、市内7ヶ所にて青少年健全育成活動についてご理解とご協力をお願いしました。また、この日以外に地区行事に合わせて行うところもあり、たくさんの市民のみなさんに呼びかけをしました。呼びかけに際して、下のようなクリアファイルを配布しました。このクリアファイルは、赤い羽根共同募金「地域支え合い活動支援事業助成」により作成させていただきました。ありがとうございました。



(表)

市内の育成協議会で取り組みを行っている標語です

◇ いじめゼロ みんな仲良し 外ヶ崎の子	外ヶ崎小学校区青少年育成協議会
◇ ありがとう 感謝の言葉で みな笑顔	磐舟町小・一中校区青少年健全育成協議会
◇ 広げよう あいさつの輪 深めよう 地域の絆	豊橋小学校区青少年健全育成協議会
◇ 優しくして 子どもを守る 地域の日	二葉地区青少年育成協議会
◇ げんきよく ひろがれ つながれ えがおのわ	住吉小学校区青少年健全育成協議会
◇ ありがとう その一言で 笑顔の輪	東豊学区青少年健全育成協議会
◇ あいさつは 目を見て 笑顔で さわやかに	東中学校区すこやかな子どもを育てる会
◇ 市民の力 みんなで協力 安全社会	川東地区自治連合会教育推進支援部
◇ あいさつで 深まる絆 広がる輪	七葉中学校区すこやかな育成会
◇ あいさつで みんなの笑顔 ひろがるよ	さわやかな桜木こども育成会
◇ 若い芽に そぞび きびしさ あたたかさ	豊清地区青少年健全育成協議会
◇ ありがとう 素直な心 思いやり	新豊寺地区青少年健全育成協議会
◇ すてきだね らわらわ笑顔 あふれる	加治川地区青少年健全育成協議会
◇ おかあさん 目を離さずに そばにいて	本丸中学校区明るい子供を育てる会
◇ 育てよう 優しい笑顔と 輝く瞳	豊橋中学校区すこやかな子どもを育てる会

(裏)



